

日銀グランプリは、日本銀行が毎年開催している、学生の皆さんを対象とした金融経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。今回も、多くの皆さんのご応募をお待ちしています！

応募要領

■テーマ

「わが国金融・経済の課題と明日への処方箋」

現在のわが国の金融・経済を皆さんの目から見渡してみ、「今、何が問題か？」「課題を克服し、さらなる発展に繋げていくための処方箋はどのようなものか？」という点について、率直に論じてみてください。

金融を巡る諸問題や金融政策について真正面から取上げることで、あるいは、金融との関わりの中で様々な経済問題について論じてもらうことでも構いません。

—— 切り口の例としては、次のようなものが考えられます。しかし、これらに限らず、皆さんの清新で大胆な問題提起を期待しています！

【切り口の例】

- ・金融サービスの利用者（法人・個人）は、今何を最も求めているか
- ・IT化やグローバル化の進展は、通貨や金融の仕組みにどのような影響を与えるか
- ・わが国産業の将来像はどのような姿が展望できるか、金融はそれをどのように支えていくのか
- ・わが国金融経済の発展に向けて、家計・消費者が果たすべき役割は何か
- ・これからの時代に求められる金融経済教育は、どのようなものか
- ・中央銀行・金融政策に今最も期待されるものは何か

■応募資格

現在、大学（短大を含む）および専修学校専門課程などに在籍の方（大学院生は除く）。2～4名1組のグループでご応募ください。

■応募規定

- ・ 予選（書類審査）……上記のテーマに沿って、題名をつけ、日本語でA4（タテ置き、横書き）×5枚以内（1枚につき35字×35行）の小論文としてまとめてください。応募に際しては、専用の応募用紙（下記参照）を添付してください。
※応募は未発表のものに限ります。他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。
注釈、図表、参考文献などは枚数に含まれません。
- ・ 厳正な審査を経て、決勝進出チーム（5チーム程度）が選ばれます。
- ・ 決勝……………2007年12月にプレス公開で開催します。日本銀行本店（東京）にて論文要旨のプレゼンテーション（15分程度）と審査員との質疑応答（15分程度）を予定しています。日程などの詳細は、決定次第、下記ホームページで公表します。

■審査方法

- 【書類審査】 ①現状の把握・分析的的確性、②着眼点や提言の独創性・実効性、③論旨および提言の論理性・説得性、といった諸点に照らして、決勝進出チームを厳正に選定します。
- 【決勝審査】 書類審査のポイントに加え、④プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

■審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者（計5名程度。審査員長は岩田副総裁を予定）。

■賞

最優秀賞／1チーム（楯、賞状、図書カード15万円）

優 秀 賞／2チーム（楯、賞状、図書カード 3万円） ※この他に敢闘賞および佳作を選定することがあります。

■応募締切

2007年9月28日（金）※必着

■応募方法

専用の応募用紙を日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）から入手、小論文に添付の上、電子メールまたは郵送にてご応募ください。

※ 応募者の個人情報、日銀グランプリ関係の連絡、発表以外の用途には使用しません。

■応募

・問合せ先

【郵送】〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1

日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係

【Tel】03-3277-2168（土・日・祝日を除く10時～17時）【Fax】03-5203-8703

【E-mail】post.prd3@boj.or.jp

■注意事項

- ・ 入賞論文は日本銀行のホームページなどに掲載することがあります。
 - ・ 提出論文の著作権は主催者（日本銀行）に帰属します。
 - ・ 二重投稿はご遠慮ください。
 - ・ 提出物は返却いたしません。
 - ・ 応募規定の内容を満たさない論文は選外となります。
 - ・ 選考過程についてのお問合せには応じかねますので、ご了承ください。
- ※ 日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）に、過去の日銀グランプリにおける上位入賞論文、審査員の講評などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

～「第2回 日銀グランプリ」決勝から～



■発表の様子



■発表に聞き入る審査員



■表彰式にて